

楽しい大休み

本校には、2限目と3限目の間に25分間の大休みがあります。晴れの日には、この時間に外で遊ぶよう児童に勧めています。外遊びは仲間との関係を育み、児童の心と身体の健康につながると考えています。

4月12日(月)は、温かな春の陽気となり、たくさんの児童がグラウンドに出てきました。

広い校庭の北側を低学年、南側を高学年がそれぞれ使ってもよいエリアとして、安全に遊べるようにしています。ドッジボールで遊んでもよい場所も設けています。

学級のボールで遊んだり鬼ごっこをしたりと、児童は思い思いに楽しい時間を過ごしていました。

グラウンドの一角には、季節の植物が育つ盛り土の場所があります。そこでは、タンポポの花を摘んだり、小さなカエルを見つれたりしている児童もいました。

大休みの終了が近づくと、放送で委員会の児童が、学年別に校舎に入るようアナウンスします。教室に入る前には手洗いをしていますが、校舎内での密を避けるために、玄関前の仮設の手洗い場所も設けています。

